

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町兎沢17-31
指定期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成33年 3月31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 旅行者及び住民の健康増進と保養の場の提供に関すること。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関すること。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関すること。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関すること。 5. 露天風呂の施設の提供に関すること。 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	7,807	7,166	△641
うち利用料金額	2,252	1,620	△632
うち指定管理料	5,545	5,545	0
支出合計(B)	7,807	7,926	△119
うち人件費	2,521	2,571	△50
収支差(A-B)	0	△760	△760
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	繁忙期に台風や暴風雨に見舞われ、冬期間は倒木による停電で暖房機器や温泉設備が使えなくなり、何度か臨時休業しました。また、道路工事による影響が収入減少に繋がったと思われます。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	レストハウス	12,800	10,094	△2,706
夫婦かっぱの湯	7,800	5,996	△1,804	
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施(有・無) <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光客には、露天風呂や周囲の景観がとても良いと評価をいただきました。 2. 施設内の清掃や内装美化に努めた結果、お客様に清潔感があって良いと好評でした。 3. 夏場は、湯温が高い為、常に温度管理に努めました。 4. アブやカメムシの発生時に苦情が寄せられた為、駆除を徹底しました。 				

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
入浴ポイントカードの実施	39	0	0
収穫祭の実施	455	30	0
バスタオル・湯あみ貸出料	バ・171 湯・29	バ・51 湯・15	バ・17 湯・6

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	A
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	A
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	A

6. 指定管理者総合評価

ホームページやフェイスブック等で情報発信に取り組み、施設内の清掃や美化、スタッフの接客マナーに取り組んだ結果、お客様からの評価を得られました。観光シーズンにおいては、天候に恵まれず、道路工事や施設の暖房機器の停止等で臨時休業が多かったこともあり、来客数の減少に繋がったと思います。

しかしながらリピーター客は徐々に増加しているので、これからも努力して参ります。

7. 市の所管課総合評価

施設の管理運営については、様々な工夫を凝らし、施設の美化・利便性向上に努めていたと認められる。自主事業として、バスタオル・湯あみの貸出は評判が良く、利用客増加に繋がっていると判断できる。

しかしながら、ホームページ・フェイスブック等、情報発信に取り組んではいるが、一部構築が間に合っていない箇所も見受けられるため、平成31年度はより力を入れていっていただきたい。